

經濟論叢

第156卷 第5号

哀 辞

故平田清明名誉教授遺影および略歴

- | | | |
|--|-----------------------------|----|
| 日本型経営システムにおける労働管理…………… | 吉 田 和 男 | 1 |
| ネットワーク外部性とシステム互換性…………… | 依 田 高 典
廣 瀬 弘 毅
江 頭 進 | 17 |
| フィリピンにおける現地系大手食品企業による
養鶏インテグレーションの形成…………… | 大 江 徹 男 | 38 |
| 労働市場の時間と人数に関する非定常推定…………… | 宮 崎 憲 治 | 59 |

追 憶 文

- | | | |
|------------------|---------|----|
| 平田清明さんを偲ぶ…………… | 菱 山 泉 | 82 |
| 永遠に学問の灯かがやけ…………… | 八 木 紀一郎 | 86 |
-

平成7年11月

京 都 大 学 經 濟 學 會

哀 辞

本学名誉教授 平田清明先生は 去る平成7年3月1日に逝去されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 昭和22年に東京商科大学をご卒業になり 横浜国立大学 埼玉大学の講師助教授 名古屋大学教授を歴任されました 名古屋大学教授在任時にも昭和50年52年と本学の経済原論の講義をご出講いただきましたが 昭和53年には本学経済学部の経済原論担当教授にお迎えしました それ以来昭和61年のご退官まで 講義および演習や研究会を通じて 多くの学生 大学院生の指導に尽力されました また大学行政の面でも 評議員 経済学部長として多大な貢献をされました パリ大学との交流を推進されたことも忘れられません

本学ご退官後は 神奈川大学教授を経て 平成6年には 鹿児島経済大学の学長に就任され ご逝去にいたるまで 研究教育と大学行政に全力を捧げられました

先生は 経済理論と経済思想史の領域で多数の著作を残されました なかでもケネー「経済表」を徹底的に解明された「経済科学の創造」と資本循環論を基礎に中期マルクスの経済理論を探究された「経済学と歴史認識」は 高い学術的評価を受けました 本学在任時にもマルクス「資本論」のコンメンタールを「経済セミナー」誌上に4年間にわたって連載されました 先生の市民社会論は学界で大きな反響をよびましたし また最近では フランスのレギュラシオン理論を紹介されて この理論の日本経済の分析への活用をよびかけられていました

本学会のためにも 先生は 本誌にいくつかの貴重な論文をお寄せくださったほか 評議員長としても ご尽力いただきました ここに感謝の意を表するとともに 先生のご冥福を心からお祈り申し上げます

平成7年9月

京都大学経済学会